

シラス漁好転の兆し

漁況

- ・ 水揚量は 5 月以降に徐々に低下し、6 月も低調に推移していました。
- ・ 遠州灘（御前崎・福田・舞阪・新居）の 1 日 1 か統当たりの平均水揚量は、6 月 27 日は 96kg/統・日でしたが、30 日には 671kg/統・日に急増しました。その後も、200kg/統・日以上の水揚量が続いています。
- ・ 一方、駿河湾（用宗・吉田）の 1 日 1 か統当たりの平均水揚量は、7 月 2 日は 80kg/統・日でしたが、それ以降は隔日操業ではあるものの、100kg/統・日以上となっています。

海況

- ・ 関東・東海海況速報によると、6 月上旬の県内沿岸水温は 21 台でした（図 1）。
- ・ 遠州灘では、6 月中旬に暖水波及があり、6 月下旬には 23~24 に昇温しました（図 2）。

コメント

遠州灘には、暖水波及によるシラスの加入があったと考えられます。駿河湾については、現在のところ顕著な暖水波及は見られませんが、今後、暖水波及があれば、シラス漁が好転する可能性があります。

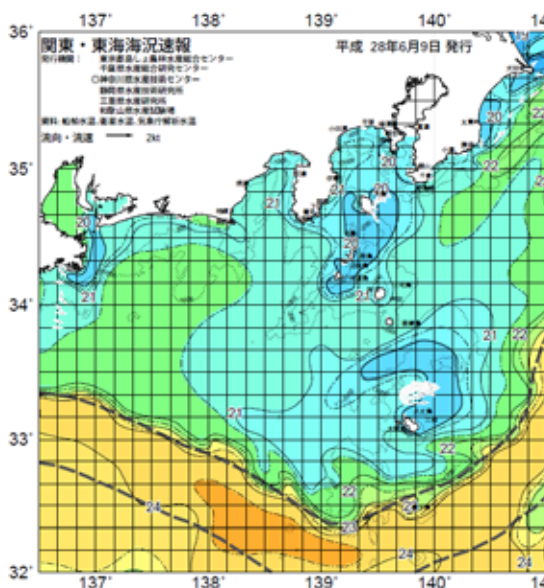


図 1 6 月上旬の水温図(6 月 9 日)

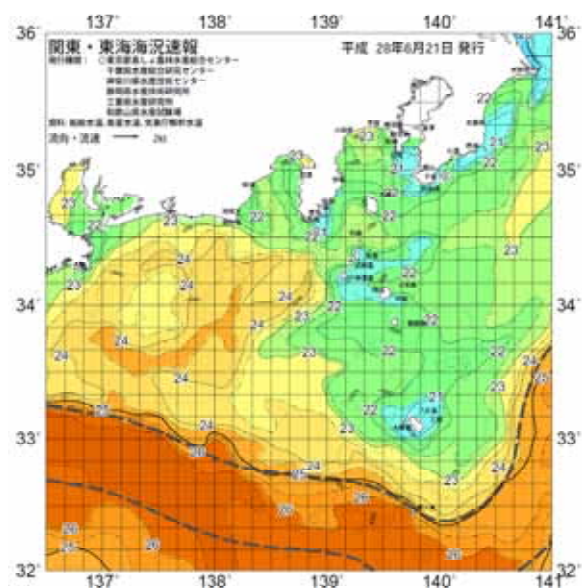


図 2 6 月下旬の水温図(6 月 21 日)